

政府からの要請に対応 国産マスクの生産能力を1億5千万枚/月に増強 マスク資材製造設備を新たに設備投資

アイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長 大山 晃弘）は、政府からの要請に対応するため、6月稼働予定の宮城県角田工場のマスク生産能力を1億5千万枚/月に増強することを決定しました。

当社は、中国の大連工場と蘇州工場の2拠点の生産に加えて、日本国内の生産設備導入により、6千万枚/月という新たなマスク生産計画を既に発表しています。しかし、政府からの更なる要請を受けて、国内のマスク生産を一層強化する必要があると判断しました。そこで、政府の「国内投資促進事業費補助金」を活用することで、日本国内の設備投資をさらに拡大し、1億5千万枚/月の生産体制を新たに構築します。また、中国におけるマスクの重要資材である不織布（メルトブロー※1、スパンボンド※2）の価格高騰による影響も考慮し、同工場内に資材製造設備も新たに導入することで内製化率を高め、中国一国に依存する供給体制を見直します。今回の国内マスク生産設備増強により、中国2拠点の工場と合わせて日本国内に2億3千万枚/月を供給できる体制が実現します。

■角田工場 マスク生産概要

所在地	: 宮城県角田市小坂上小坂1番
投資総額	: 約30億円
生産能力	: 1億5千万枚/月
生産アイテム	: 不織布マスク マスク用不織布（メルトブロー、スパンボンド）
稼働時期	: 2020年7月
新規雇用人数	: 100名

■日本国内へのマスク供給体制

供給枚数	: 2億3千万枚/月
・日本（角田工場）	: 1億5千万枚/月
・中国（大連工場、蘇州工場）	: 8千万枚/月

今後も日本国内におけるマスクの安定的な供給に貢献できるよう、行政や業界団体と連携を図りながら、必要な支援を行ってまいります。

※1 中間層フィルター

※2 内側と外側の単層不織布